



INSTRUCTIONS (取扱要領書)

-J04675

2016-04-04

LCD油温/レベルディップスティック

概要

部品番号

クローム:63004-09A、63002-09A、62955-09A、62946-09A、62974-09A、62700005A、62700009、62700180

ブラック:63030-09A、63055-09A、63131-09A、63065-09A、62700011、62700194

ディップスティックサービスキット(交換用バッテリー付き):91800066

モデル

モデルの備品に関する情報は、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

キット内容

LCDアッセンブリーまたはディップスティックの交換用パーツは含まれていません。交換用CR2032バッテリー(部品番号66373-06)を別途購入することができ、すべての油温/レベルのディップスティックで利用できます。

Oリング、スクリュー、および交換用のCR2032バッテリーを含むディップスティックサービスキット(部品番号91800066)は、特定のモデル向けです(「表1」および「図3」を参照してください)。

LCDディップスティックの取り付け

- 標準装備(OE)のディップスティックをフィルターネックから取り外します。
- ねじ式ディップスティックの場合:新しいLCDディップスティックのOリングにオイルを薄く塗ります。ディスプレイウィンドウが次のようになるようにディップスティックを取り付けます:ディップスティックをフィルターネックにまっすぐ押し込み、ぴったりとはまる位置で止めます。
 - 水平
 - 左から右へ文字を表示
 - Bar&Shieldのロゴが左側に(後方に向かって)見える
- ねじ式ディップスティックの場合:Oリングに薄くオイルを塗布します。標準装備のディップスティックのように、トランスミッションにディップスティックをねじ入れます。完全に装着した後にディスプレイの向きを変えたい場合は、この説明書の以降のセクションである「ディスプレイアングルの調整」を参照してください。

注記

正しく計測されるように、ディップスティックがフランジにしっかりと収まっていることを確認してください。

LCDディップスティックの使用法とお手入れ ディップスティックの取り外し

オイルの補充または内部バッテリーを点検する際は、フィルターネックからオイルゲージアッセンブリーを外します。

油温と量の表示

「図1」を参照してください。正面にあるラバーボタンを押してから離すと、以下が表示されます:

- ・ オイルタンク内の油温(華氏(° F))
- ・ エンジンオイルレベル

ディスプレイは約10秒経つと自動的にオフになります。

ご注意

オイルタンクにオイルを入れ過ぎないでください。入れ過ぎるとオイルがエアクリナーに回ってしまい、各部の損傷や不具合につながるおそれがあります。(00190b)

注記

オイルレベルは次の条件下では正しく測定されません:

- ・ エンジンが冷えているとき
- ・ バイクをまっすぐ立てているとき
- ・ エンジンがかかっているとき

純正ディップスティックを装着した2000年から2004年のSoftailモデルのオイルレベルは、車両を直立させて(サイドスタンドに立てかけないで)チェックします。

LCD油温/レベルディップスティックを装着した2000年以降のSoftailモデルの場合は、オイルレベルの検査は車両を平らな場所でサイドスタンドに立てかけて行います。

運行前のオイルレベル点検:

バイクを水平な地面でサイドスタンドに立てかけます:

- ・ 適切なオイルレベルは図1で示す4~8です(オイルレベルを示すバーと点滅する油温が表示され、エンジンが冷えている場合は「COLD OIL」メッセージが表示されます)。エンジンが冷えているときは、ディップスティックのFULLマークまでオイルを補充しないでください。
- ・ オイルレベルが9(変化するレベルバーと「888NOSENSOR」コード)のように表示される場合は、ディップスティック内のワイヤーが外れているか破損している可能性があります。後のセクションで紹介する「バッテリーの交換」を参照し、ディップスティックの上下アッセンブリーを分離します。バッテリーの横の小さいプラグがレセプタクルから外れている場合は、接続します。ワイヤーを見て破損がわかる場合は、修理することができます。損傷が見当たらない場合、ディップスティック内部が損傷しているため、交換する必要があります。

運転温度でのオイル量の点検:エンジンが通常作動温度になるまで車両を走行させます。

-J04675

ハーレーダビッドソンのパーツおよびアクセサリーの多くはプラスチックと金属で作られているため、リサイクルが可能です。部品は責任を持って廃棄してください。

1/4

Softailモデル:直立状態で車両を1、2分アイドリングします。エンジンを切ります。サイドスタンドに立てかけます。

Softailを除く全モデル:平らな地面で車両をサイドスタンドに立てかけて1、2分アイドリングします。エンジンを切ります。

- ・ オイル内の気泡が原因で正しい読み取りが行われない場合があります。数分待つてオイルを落ち着かせます。
- ・ LCD油温/レベルディップスティック前面のラバーボタンを押して離し、オイルタンク内の油温とオイルレベルを表示させます。適切なオイルレベルは図1で示す11～14になります。
- ・ オイルレベルが10または15を示す場合は、オーナーズマニュアルの「オイルレベル温間時点検」を参照し、正しい方法でオイルを補充してください。
- ・ オイルレベルが9(変化するレベルバーと「888NOSENSOR」コード)のように表示される場合は、ディップスティックが正常に機能していません。「運行前点検」の手順を参照してください。

表示モードの変更

表示を摂氏(°C)に変更するには:

- ・ ボタンを約5秒間押したままにします。
- ・ ボタンを離します。

これ以降は、ボタンの押し離しをすると、温度が「°C」で表示されます。

同じ方法で「°F」表示に戻すことができます。

長時間温度/レベル表示

ボタンを2回素早く押すと、ディスプレイの表示時間が長くなります。ディスプレイは約2分後に自動的にオフになります。その前に手動でオフにしたい場合は、ボタンを1回押します。

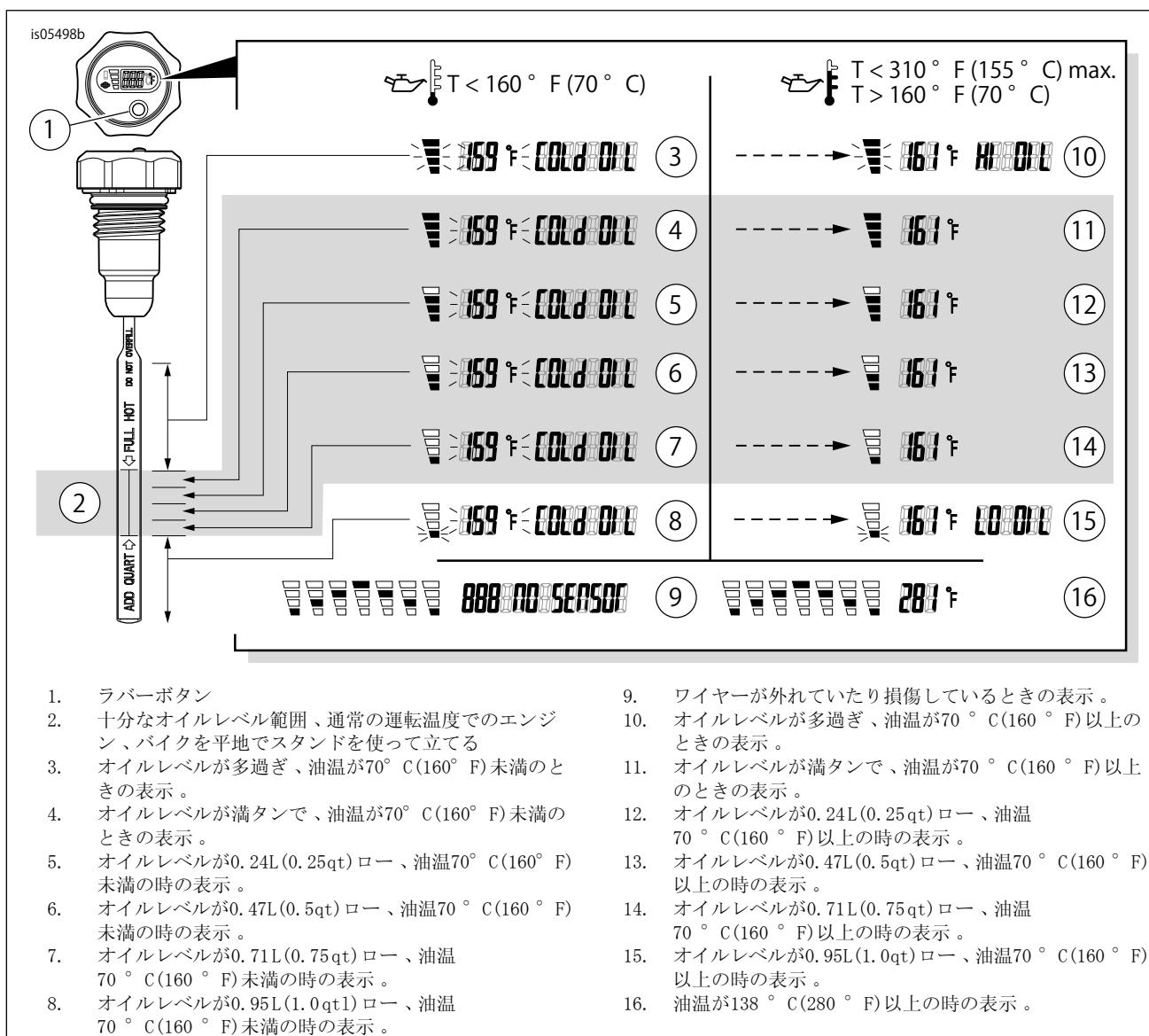


図1. LCD油温/レベルディップスティック

表示エラー

「888NOSENSOR」エラーコードと変化するレベルバー(図1の9)が表示される場合、ワイヤーが外れているか、破損していることを示します。

ディップスティックのバッテリーの残量が2.4V以下になると、LEDバックライトが消え、バッテリー記号(「図2」を参照)が点滅を開始します。

注記

内部の電気系統に不具合が生じないように、ディップスティックは油温が138 °C (280 °F)を超えるとオイルレベル計測を停止します。変化するレベルバーは、油温(図1、ディスプレイ16)とともに、最高155 °C (310 °F)まで表示します。

高温でもディップスティックは破損しません。

レベル値読み取りは、油温が138 °C (280 °F)以下に下がると読み取りを再開します。

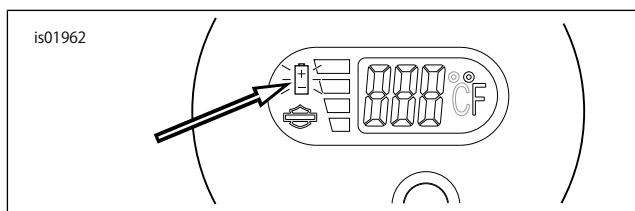


図2. バッテリー記号

ディスプレイアングルの調整

LCD油温/レベルディップスティックを初めて取り付ける場合、ディスプレイは見やすいように車体と平行に取り付けてください。ネジ山付きディップスティックでは、表示が回転して適切でない表示角度になる場合は、以下の手順を行います。

注記

「図3」を参照してください。アッパーディスプレイボディ(A)とロアディップスティックアッセンブリー(B)を分割するときには注意が必要です。

1. ディスプレイボディ下にある小さいプラススクリュー(2)を4本外します。
2. 配線に負荷がかからないように、アッパーディスプレイボディからロアディップスティックアッセンブリーをゆっくり引き出します。上下アッセンブリーを慎重に分割します。

注記

ネジ山付きモデルでは、ロアディップスティックアッセンブリーは、アッパーディスプレイボディに対して8方向に回転させることができます。最も平行になる位置にディスプレイを向けます。

3. ロアディップスティックアッセンブリーを適切な位置まで回転させます。配線やシリコンシールリングを挟まないように気を付けながら組み立てます。スクリュー4本を取り付けます。しっかりと締めます。

バッテリーの交換

LCD油温ディスプレイは、持続時間の長い交換式CR2032リチウムバッテリーから電源供給を受けています。バッテリー

の交換が必要になったときに使用できるのは、CR 2032バッテリーだけです。

- ・ 交換式CR 2032バッテリー(部品番号66373-06)は、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にてお買い求めいただけます。これらのバッテリーは各地域のバッテリー取扱店でも販売されています。
- ・ モデルによっては、ディップスティックサービスキット(部品番号91800066)を購入する必要があります。これはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で販売されています。このキットには、Oリング、スクリュー、および交換用CR2032バッテリーが含まれています(「図3」および「表1」を参照してください)。

ご注意

次の説明を読み、十分に理解してからバッテリーの交換を行ってください。自分で作業を行う事が難しい場合、または適切な工具を持っていない場合、ハーレーダビッドソン販売店に取り付けを依頼してください。正しく取り付けないと本製品が破損する場合があります。(00419b)

注記

「図3」を参照してください。分解後、同じ向きに調整できるようにアッパーディスプレイボディ(A)とロアディップスティックコンポーネントをマークしてから分解してください。2つのコンポーネントを分割する際は慎重に行ってください。

1. ディスプレイボディ下にある小さいプラススクリュー(2)を4本外します。
2. 配線に負荷がかからないように、アッパーディスプレイボディからロアアッセンブリーをゆっくり引き出します。上下アッセンブリーを慎重に分割します。
3. バッテリーの向きをメモします。機械用ピックまたは小さいスクリュードライバーを使用し、ツールをバッテリー(4)の下にゆっくり挿入します。バッテリーをゆっくり引き上げ、廃棄します。図のように新しいバッテリーを取り付けます。ぴったりとはまるまで、バッテリーを押します。

注記

赤の薄いOリング(3)がある場合は、取り外して交換します。

薄いOリングはアッセンブリーのいずれか半分にくっついている可能性があります。

- ・ 新品のOリングを取り付ける前に、既存のOリングを完全に取り外してください。
 - ・ 片側を再組み立てする前に、新品の薄いOリングをロアアッセンブリー(B)に慎重に置いてください。
4. ロアアッセンブリー(B)とアッパーボディ(A)を合わせます。分解前に、2つのパーツを同じ回転方向に取り付けます。配線や薄いOリングを挟まないようにしてください。スクリュー4本を取り付けます。しっかりと締めます。
 5. 厚いOリング(1)がある場合は、ディップスティックを取り付ける前に取り外して交換します。フィルターネットにディップスティックを挿入します。
 6. 前面のラバーボタンを押して正しく動作するか確認します。「LCDディップスティックの使用法とお手入れ」を参照してください。

ディップスティックサービスキット

表1。ディップスティックサービスキット

キット	項目	詳細(数量)	部品番号
キット91800066 ディップスティック サービスキット	1	Oリング、厚型(Softailや2002～2006年のTouringモデルでは必要ありません)	別売りなし
	2	スクリュー、プラス、スペシャル(4)	別売りなし
	3	Oリング、薄型(2004年以降のLaterXLSportsterモデルでは必要ありません)	別売りなし
	4	バッテリー(CR2032)	66376-06
本文中記載品目:			
	A	アッパーディスプレイボディ	
	B	ロアディップスティックアッセンブリー	

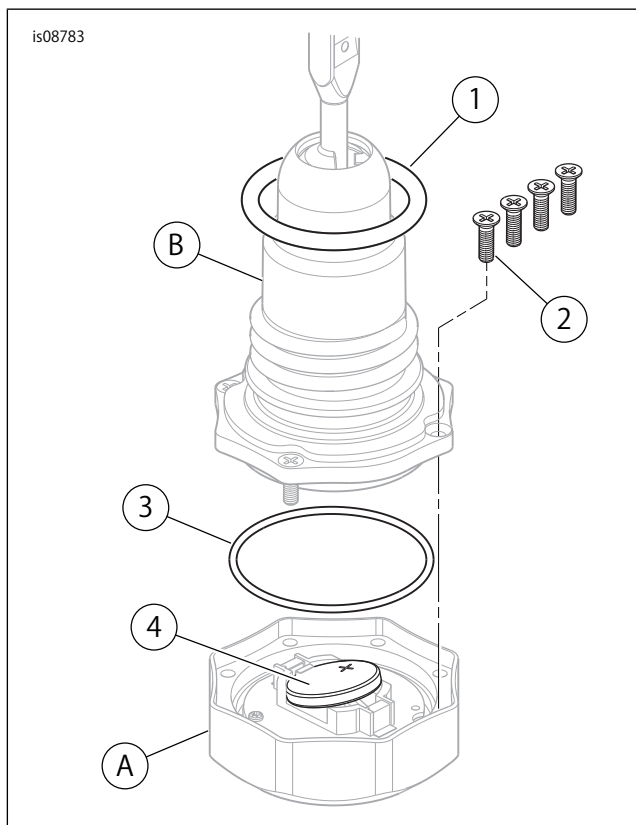


図3。ディップスティックサービスキット

液晶ディスプレイ (LCD) の特徴

LCDの性質により、トランスミッションケースまたはオイルタンクからの熱による極端な高温に晒されると、読み取り値に正しく油温が表示されません。

このような極度の条件は、高温時(気温)における渋滞中やパレード任務中に発生することがあります。この現象が生じても、心配はいりません。LCDは損傷を受けていないので、LCDが通常の操作温度に戻ると再び機能します。

また、直射日光に長時間晒した後は、LCDセグメントの一部またはすべてが見えるようになり、ラバーボタンを押さなくてもLCDが誤った読み取りを行っているように見ることがあります。この現象は、直射日光を避け、適切な読み取りを行えるまで表面温度が低下すれば回復します。